

# 東大阪市総合事業サービス従事者養成研修 受講科目

科目名	時間数	項目名	内容例
(1)職務の理解	2時間	介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護保険制度の基本的仕組み</li> <li>●介護給付 ●予防給付 ●介護予防・生活支援サービス事業</li> <li>●サービス提供に至るまでの流れ(要介護・要支援認定、基本チェックリスト、地域包括支援センター、介護支援専門員、ケアプラン)</li> <li>●仕事内容や働く現場の理解(訪問型サービス)</li> </ul>
		多様なサービスの理解	
		仕事内容や働く現場の理解	
		介護職の役割、専門性と多職種との連携	
(2)老化の理解	1時間	老化に伴うこころとからだの変化と日常	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身体的機能の変化と日常生活への影響</li> <li>●精神的機能の変化と日常生活への影響</li> </ul>
		高齢者と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者の疾病(機能低下)と日常生活上の留意点</li> <li>●高齢者に多い病気と日常生活上の留意点</li> </ul>
(3)介護におけるコミュニケーション技術	1時間	介護におけるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者・家族とのコミュニケーション(相手への理解や配慮、傾聴、共感、家族の心理の理解、信頼関係の形成)</li> <li>●利用者の障がい(※)等の状況に応じたコミュニケーション</li> <li>※視力・聴力障がい、失語症、構音障がい、認知症</li> </ul>
(4)認知症の理解	2時間	認知症を取り巻く状況	(認知症サポーター養成講座の内容により実施)
		認知症の基礎と健康管理	
		認知症に伴う変化と日常生活	
		家族への支援	
(5)介護における尊厳の保持、介護の基本	3時間	人権啓発に係る基礎知識	●人権について
		人権と尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人としての尊重 ●尊厳の保持 ●利用者のプライバシーの保護</li> <li>●QOLの考え方 ●ノーマライゼーションの考え方</li> </ul>
		介護職の職業倫理	
		自立に向けた介護	●介護における自立支援(残存能力の活用、意欲を高める介護、介護予防)
		安全の確保とリスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全対策、感染対策(リスクマネジメント、事故報告、情報の共有)</li> <li>※生活援助に関連する対策を例示</li> </ul>
		介護職の安全	●介護職の健康管理(ストレスマネジメント、感染症対策)
(6)生活支援技術	2時間	生活と家事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家事援助に関する基礎知識と生活支援(生活歴・価値観の理解、生活援助のポイント、調理、洗濯、掃除、買物等)</li> <li>●介護保険の対象外の支援(衣替え、庭掃除等事例紹介)</li> </ul>
(7)修了評価と振り返り	1時間		筆記試験(選択式)による基本的事項の理解確認と振り返り
計	12時間		

○上記科目を2日間に分け、計12時間(1日あたり6時間)実施します。